



**国際文化紹介ブース5月…  
ウズベキスタン編**

せんとぴゅあⅡで、東川町国際交流員(CIR)が母国に関連した書籍を紹介しています。

**担当CIRからヒトコト**

ウズベキスタンは今が観光シーズンなので観光と料理の本をそろえました。一緒にページをめくってみませんか。 マリコヴァ・シトラボヌ

※一部館外貸し出しできない書籍もございます。

**ほんの森  
司書のオススメ**



**せんとぴゅあⅡ ほんの森**

【貸し出し】  
図書、紙芝居、雑誌は一人合計10点まで(15日間)  
DVDは一人2本まで(8日間)

★本、DVDの蔵書リクエストもお受けしています

**ウチの師匠がつまらない(一般書)**

錦笑亭 満堂/著 パルコエンタテインメント事業部/刊



バラエティ番組「笑点」のピンクの着物でおなじみの三遊亭好楽はつまらない演者だと思っていた。そんな師匠にわけあって弟子入りをした青年は、落語界で“この人の悪口を言う人は一人も居ない”というほどの底抜けに“いい人”な人柄に魅了されていく。東川町で落語の独演会を開催したこともある錦

笑亭満堂が、師匠を通して知った笑いと人情あふれる日々をつづったショートエッセイ集。

**世界を知ろう!**



**ラスト・ベル**

東川町国際交流員 (CIR) マリコヴァ・シトラボヌ

皆さん、「ラスト・ベル」について聞いたことはありますか? 「ラスト・ベル」にはどんな意味があるのか知っていますか。「ラスト・ベル」とは学年の終わりに鳴らされる最後の鐘のことをいいます。



ウズベキスタンは小学校4年間と中等学校7年間の教育制度で、11年間学校に通います。しかし日本とは違い、1年生から11年生までの生徒たちがみんな同じ学校で勉強します。授業時間だけが違い、午前と午後に分かれて授業が行われます。例えば、1~4年生の生徒はお昼まで、5~11年生は午後の時間帯に勉強します。そして、すべての学年が通常5月25日に終わります。その日に「ラスト・ベル」が鳴るのです。

「ラスト・ベル」という呼び方は旧ソ連時代からの名残だと言われていて、卒業式で行われるイ

ベントでした。現在も旧ソ連の国々では卒業式や学期の終わりにお祝いをします。卒業式前日に、生徒たちは大掃除をして各教室から庭までを風船などで飾ります。当日、卒業生はきれいな制服姿で担任の先生たちに花とプレゼントを持っていきます。他学年の生徒は先輩の卒業と学年の終わりを祝って参加します。式は学長のお祝いの言葉からはじまり、優秀な生徒たちには賞も送られます。式の最後には優秀な生徒の一人が1年生を肩に乗せて校庭でベルを鳴らします。卒業のリボンをした卒業生たちは



鳴り響くベルの音を聞きながら、叫んだり泣いたりして、互いに抱き合ってお礼を言い合います。「ラスト・ベル」

の後、校庭では20年ほど前から変わらない歌が流れます。生徒全員が声を合わせて、次の歌を合唱します。

…さようなら、学校、さようなら、友達、さようなら、私の初恋、さようなら、友達よ…

…さようなら、学校、さようなら、友達、さようなら、私の初恋、さようなら、友達よ…

皆さん、高校を卒業した日のことを覚えていますか? 学校を卒業するときに喜びや寂しさで泣いたことはありますか?